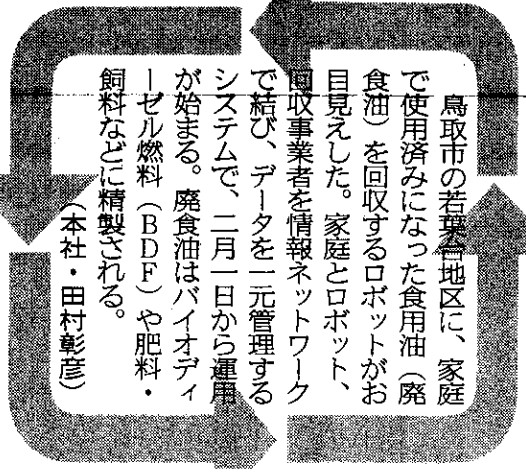


# 廃食油回収ロボ登場



鳥取市の若葉台地区に、家庭で使用済みになった食用油(廃食油)を回収するロボットがお目見えした。家庭とロボット、回収事業者を情報ネットワークで結び、データを一元管理するシステムで、二月一日から運用が始まる。廃食油はバイオディーゼル燃料(BDF)や肥料・飼料などに精製される。

(本社・田村彰彦)

総務省委託事業、第1号

## 鳥取・若葉台地区

住民や有識者、回収事業者、ソフトウェア会社の関係者らでつくるプロジェクトチームが開発した。総務省の委託事業の一つ。来年度中に県内全域のステーションや集客施設に計十台を設置し、一万人の会員を募ってシステムの実証実験を行う。

## あすから運用開始

「油回」や「愉快」の「油回」や「愉快」にちなんで「ゆかいくん」と名付けた。会員に配られたICカードを機器に当てると、注油口が自動的に開く。カードを使わずに開けようとする、ロボットが「泥棒、泥棒」と叫ぶ。ロボットの回収量データは、管理サーバーにインターネット経由で随時送られる。満タンになると自動的に知らせる。同地区はもとと、鳥取環境大の協力を得ながら、廃食油を燃料に活用した車を共同利用する「カーシェアリング」やバス運行などに取り組んできた。エコタウンの副理事長、小林興太郎さん(左)は「ロボットの導入を機に住民の環境意識をより高め、地区の循環型社会を軌道に乗せていきたい」と話している。

# 来年度中、県内に10台設置



家庭の廃食油を回収するロボット「ゆかいくん」＝鳥取市の若葉台地区公民館

らせるため、回収事業者の無駄な巡回をなくす効率性が特長だ。

会員は、携帯電話やパソコンのウェブサイトで、合計ポイントや回収量を確認できる。カードには、注油ごとにポイントが加算される。チームは「特典を検討したい」としている。

第一号機として、若葉台地区公民館(同市若葉台南二丁目)に設

読みたい

家庭へ

おなじみ

おなじみ